

熊本県教職員組合(KTU)組織部:発行

質問：「震災ボランティア派遣に参加したいのですが、どうしたらいいですか？」

県教委でも取り組みを進めているようです。\*ボランティア休暇も特別措置で5日から7日に延長されました。それを取得して参加することになると思います。もう一つは、組合に加入し、連合のボランティア派遣事業に参加することです。



私たち教職員組合では、\*連合と協力して派遣活動に取り組んでいます。5月には熊本県から2名（小学校1名、高校1名）のボランティアが派遣され、1週間、岩手県で復興作業に汗を流してこられました！出会い、感動、感謝をたっぷり味わってこられたようです。



息の長い支援活動をしようと、全国の仲間と協力しています。1, 2年というスパンではなく、復興がなるまで何年でも支援するつもりです。こんなことは、\*組織的に取り組まないと個人的にはできないことですよ。

今回、本当に大変な災害が日本を襲いました。被災されたすべての方にお見舞いを申し上げますとともに、尊い命をなくされた方々に深くお哀悼の意を申し上げます。

私たちは、遠く離れた九州から、何かできることはないかと考え、まずは募金、そしてボランティアの派遣事業に取り組んでいます。このような大規模の災害ボランティアは自己完結した形での参加が求められます。つまり、衣食住において現地に負担をかけないということです。また、情報を把握して、被災地のニーズにあった支援活動でなければなりません。これができるのは、全国に仲間がいる労働者の助け合いの輪(組合の連合体)があるからなのです。

この助け合いの輪に参加し、あなたも被災地へ飛び、復興を望む仲間たちと汗を流しませんか？



勤務条件や給与、組合のことで分からないことがあったらどんどん質問してくださいね。KTUのホームページ (<http://www.e-ktu.com>) の各種手続きの「ご意見」から書き込んでください。KTUの常執4人がわかりやすく解説します。

\*ボランティア休暇：阪神淡路大震災のときに多くのボランティアが現地に入り、災害復旧活動に取り組んだのは有名な話ですね。公務員は職務専念義務があるので、公務を離れられません。ボランティア休暇が新設され、公務員もボランティアに参加しやすくなりました。人助けだけではなく、学ぶことも多く、その後の職務にも役に立ったようです。



\*連合と協力：「連合」＝「日本労働組合総連合」の略。様々な労働組合が加盟している団体です。全国組織であり、この組織力を活用して、被災地に負担をかけない復興援助活動が実現しているのです。一週間のサイクルで復興活動を交代で支援しています。泥に埋まった家の修復等、現地で困っている人への援助活動を行っているんですよ。



\*組織的に取り組む：個人でできることは限られています。期間的にも資金的にも大がかりなことはできません。また、一度に多くの人を押しかけたりすると、地元の負担になってしまいます。その点、大きな組織があると、シフトを組んで息の長い長期間の援助活動ができますし、資金的にもたくさんの組合員から集めた組合費で、旅費や宿泊費を援助することができます。一人ではできないことが、大勢集まることでできるようになるのです。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」ということですね。今もチームを組んで被災地には私たちの仲間が、困っている人に手をさしのべています。

